

紫波町は、南部杜氏発祥の地である歴史、文化、酒産業を守っていくため、
「酒のまち紫波」として、酒とまちを未来につなぐまちづくりを進めます

歴史

紫波町には、古くから続く日本酒の酒蔵が4つあり、ワイナリーやサイダリーも存在し、酒が特徴的な産業であると言えます。その要因として大きいのは、紫波町が日本三大杜氏集団である「南部杜氏」の発祥の地であるという歴史的背景であり、酒づくりを通じたまちづくりが江戸時代から行われてきました。

功績

南部杜氏の歴史は、近江商人である村井権兵衛が大阪から当時の最先端技術を持っていた池田流の杜氏を招いて志和地区で澄み酒（清酒）の醸造を始めたことが起源です。酒造りを通じて地域に良質な雇用を生み出し、優れた醸造技術を根付かせ、南部杜氏は全国から頼られる存在として名を馳せました。

意志

現在でも国内最大の会員数を誇る南部杜氏協会は、村井権兵衛の意志を受け継ぎ、地元のみならず、全国の酒蔵の安定的な経営を支えています。
酒造業界を背負っているという責任感、次世代の人材を育てながら業界を支えていこうとする姿勢が感じられます。

こうして脈々と受け継がれていく村井権兵衛の意志に今一度着目し、
再び酒を通じたまちづくりをしていくことで、
私たちは「酒」と「まち」の未来を変えようと思っています。



酒のある暮らしの中で

酒産業の価値を高める



【ビジョン】

酒と共にある暮らしを大人も子どもも愉しむまちをつくる
～おもしろい！が止まらない。酒のまち紫波。～

農業
観光

食

地域

関係
人口

教育

歴史
文化

新技
術

環境

酒のまち紫波推進拠点の整備

構造改革特区制度の活用

■ぜひ皆さんと一緒に考えていきたいです！

- ・子どもたちが将来の仕事として酒産業を目指すために何が必要か？
- ・普段の暮らしの中で「お酒（醸造・発酵）」をもっと身近に感じてもらうためにはどうすればいいか？
- ・酒のまちで暮らすということはどういうことを指すのか